

# 鳥取・北近畿周遊旅行

1998年3月9日から2泊4日1夜行

1998年3月9日 月曜日 長野から新大阪へ



3月9日月曜日、長野発の夜行急行ちくま号で旅立つ。昨年秋のダイヤ改正で14系15型寝台車+12系座席車の編成から特急しなの号と同じ383系特急電車に置き換えられました。ただ、時間はほとんど変わらず客車時代と同じ速度で運転しています。

今回はグリーン車を使いましたが、やはりB寝台で横になった方が楽ですね。

1998年3月10日 火曜日 城崎温泉を経て鳥取へ

3月10日の朝に新大阪駅に到着し特急北近畿号に乗り換え城崎へ向かう。城崎では、志賀直樹の文学碑や文芸館を見学し城崎温泉の外湯に浸かり特急エーデル鳥取号で鳥取へ向かう。鳥取では、鳥取砂丘を始めに見学する。本当に砂漠さながらの広い砂地が広がっている。砂山を越えると気持ちよい潮風が吹いてきて真っ青な日本海が見えてくる。その後、鳥取城跡・仁風閣を見学して特急エーデル鳥取号で豊岡へ向かい豊岡に泊まる。



1998年3月11日 水曜日 天橋立を見て京都へ

3月11日は、豊岡から北近畿タンゴ鉄道の普通列車で網野へ向かい。網野から特急タンゴエクスプローラー号に  
乗車して綾部へ向かい綾部から特急タンゴディスカバリー号に乗り換えて北近畿タンゴ鉄道の特急2種に乗車して天  
橋立へ向かう。天橋立で、又覗きをして知恵の文殊堂など観光して特急はしだて号で京都へ向かう。今日は、グレー  
トアップ485系が使用された。今日は、京都に泊まる。





## 1998年3月12日 木曜日 京都見物をして長野へ

最終日の3月12日は、京都観光をする。東寺五重塔から清水寺・三十三間堂・金閣寺・京都タワーを観光して500系新幹線のぞみ号で名古屋へ向かい特急しなの号に乗り換えて長野へ帰った。



この旅行記は、当初公開していた簡易的な旅行記ページを PDF 化してリニューアルしました。表現は全て当時の表現で一部不適切な部分もあるかと思いますが修正はしていません。ここに書かれている内容は1998年3月時点の内容です。現在とは異なります。

青字部分は、PDF 化した際に旅行記に未記載の部分を追記しています。